

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・IK	写真・GT
山行番	NO. 1846		
日時	2019/12/8 (日) 無風快晴		
山域	愛鷹連峰		
目的	2019・ブナ結実度観察		
コース	竹沢種店 6:35—山神社スタート 7:25—大沢—No. 1 まりこ 8:50—No. 2 たかこ 9:28—割石沢—No. 3 ひろこ 9:28—割石峠—呼子岳—No. 4 ひでこ 9:48—割石峠—蓬莱山—No. 5 かずこ 10:11—鋸岳—No. 6 せつこ 10:30—No. 7 としえ 10:46—番外 No. 7 の 1 無名木 11:04—No. 7 の 2 無名木 11:09—北面沢コル No. 7 の 3 無名木 11:17—No. 8 ともこ 11:34—位牌岳昼休憩 11:58~12:30—No. 9 かがみ 12:30—(幼木調査)—No. 10 あけみ 13:16 (看板なしで見過ごしたかも)—前岳—No. 11 いよ 13:21—山オヤジコース—山神社 14:32—御殿場 S さん宅 (反省会) 15:30~19:30—長泉		
単純標高差	上り	山神社約 750m—位牌岳 1458m=約 708m (累計は多い)	
	下り	同上	
快適度	(5段階評価) 5 = 藪はない		
参加者	後藤、加藤、井上 = 3名		

1 週間前に行く予定だったブナ観察は、富士山が見事に積雪したため、雪が積もったら「雪で遊ばなきゃ」と予定を変更し延期となっていた。本日の天気は快晴。富士山の雪は先週ほどはない。先週行っておいて正解だった。

6:35 竹沢種苗店で車に乗る。山神社駐車場にはすでに車が 7~8 台止まっている。私たちの後に続いてタイヤが異様に大きい四駆が数台入ってきた。準備をして 7:25 山神社スタート。今日の荷物はアイゼンと共通装備を入れて 9kg。あのやばい鋸岳を越えなければいけないので、余計な重さは省いた。そのため、ビールは 1 本 (それでも持って行く)。大沢から大杉を過ぎる。スキー用手袋をしているが指先が冷たい。手袋の選択を間違えた。雪山なら致命傷。

8:50 観測木 No.1 「まりこ」。固有名は、従来の会員の女性の名前だそう。当時のまりこさんが現在会員ではないので、私の長女が真理子なので、「2 代目まりこ」襲名となった。ので、とたんに親近感がわく。



No.1 まりこ 995m△

結実度観察判定 ○=豊作・沢山付いている。沢山落ちている △=普通・まあまあ。多くもなし、少なくもない ×=不作・全くない。ほとんどない

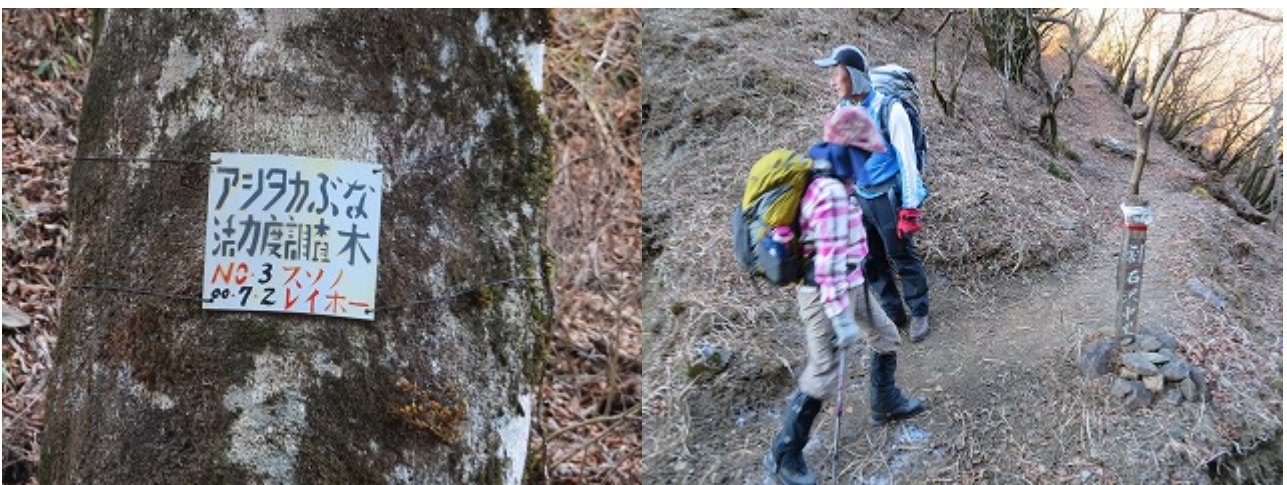


No.2 たかこ 1110m○

登るにつれ、霜柱が現れる。久しぶりに5センチ級の霜柱を見た。針状の結晶がきれい。なのに、つい踏んでしまう。霜柱はなぜか踏まずにはいられない。

先頭が沢をまっすぐ登るが、ふと左の沢に赤テープが見えた。つい沢を直進してしまい本流を見誤った。ここで、先週からつづく山の基本が発令された。「沢の本流と支流の見分け方とは。本流のほうが水量が多いので川底が深くなっている」

9:29 割石峠。ここからの景色は他ではあまり見られない。岩の隙間から向こう側に下界が見える。不思議な感じ。ここから左側が鋸、位牌方面だが、呼子岳にあるブナの観察木へ行くために右へと曲がる。呼子岳の往復となる。ここには No.4 「ひでこ」がある。加藤さんの名前をつけただけあって、この木は毎年元気いっぱいとのこと。割石峠まで戻り、蓬萊山、そして鋸へ入る。装備の変更。ヘルメット装着。手袋を皮手袋に変更。ストックをザックにしまう。緊張感が全身を覆う。半年前の単独行が思い出される。



No.3 ひろこ 1240m△

割石峠

(ここからは長い余談で、私個人の記録となります。私は約半年前の4月に、会に復帰する準備として、





No. 4 ひでこ 1310m○

トレーニングのために一人で山神社から大沢、越前岳に登った。何度も来ているので2万5千円を持たず、目印を頼りに進んだ。しかし、沢を間違えて左にそれていた。大杉を通過するはずの場所になく、気づかずに通り過ぎたものと思った。割石峠に出たつもりだが、記憶の景色と違う。後でわかったが北面沢を登っていた。やがてガスがでてきたが、先が見えないまま右に曲がり鋸に入ってしまった。2か所ほど鎖場を超えて、こんなところは割石から越前方面にはないと確信し、これは鋸だと思ったが、もう引き返すにしても進むにしてもどっちも鋸なので、進むことにした。

手袋を持っておらず素手で岩をつかみ、鎖をつかむ。ガスのため、自分のいる場所しか見えない。三点確保を思い出して、言葉に出して慎重に移動した。生きた心地がしなかった。風は強く、前後は見えず、ある意味遭難に近い状況だったのではないだろうか。しかしなんとか生きて通過できた。ガスのせいで鋸に入ってしまったこともあるが、ガスのせいで切り立った谷底が見えず手元と足元だけを見ていられたから恐怖心が薄れていたのかもしれない。

よい子は決してまねしないようにしてください。大反省です。普通、鋸は北から南に進むもので、南から北はふつうはやらないということを今回知った。)・・・注＝危険な下りが多い。基本。



No. 5 かずこ 1280m×





No. 6 せつこ 1270m×



鋸岳



鋸岳から位牌岳



No. 7 としえ 1280m△





No. 7 の 1 無名 1310m○



No. 7 の 2 無名 1310m△



No. 7 の 3 無名 1280m 北面沢コル、稜線の 5m 下○



No. 8 ともこ 1350m○



今回は晴天で全くガスはないが、何もかも見えるがゆえに、落ちたらやばいところが見え恐怖心がこみ上げる。ヘルメットがザックにあたり上を向けない。そのうえ、いつもの帽子をヘルメットの下にかぶっているのひさしが邪魔でさらに見えない。上を睨むようにして、いく先の手の置く場所を探した。何度もひやひやを繰り返し鋸終了。ここでは、毎年誰かが遭難したり死んだりしているそうだ。後藤さんは鋸にしびれ、加藤さんは嬉々として楽しんでいる。恐るべし70代の二人。緊張感と疲労で息がハアハアとしているが、加藤さんはどんな時も息が上がらないらしい。恐るべき心拍機能の高さと座った肝だ。この先の位牌の登りは、今日一番の登り。登り切った後のビールが絶対にうまくなる傾斜で150m30分の1本勝負。



No. 9 かがみ 1458m△

11:55. 位牌の頂上には、13人のグループがお昼を楽しんでいた。まるでピクニック。私たちの冒険とは真逆の登山だったのだろう。お互いにお菓子を配ったり、食事の風景を写真に撮ったりしている。

「静岡こまくさ会」らしい。その中に加藤さんの知り合いがいた。顔が広い。まずはうましビールを一飲み。昨日ビックデイで買った400円のうな井を持ってきたが、値段相応でおいしくなかった。加藤さんから甘酒をいただいた。この景色、季節にぴったり。雪化粧の富士山、葉を落とし木々を見ながら甘酒でほっとする。後藤さんからはシャッキシャキの大根に海苔とドレッシングをかけたサラダをいただいた。



No. 10 あけみ 1350m△ (看板なしで

見過ごしたかも)



No. 11 いよ 1336mO (前岳頂上)

12:30。昼休憩を終え、位牌から前岳の間はブナの幼木の数を数えた。50センチ以下は大量にあった。大きさからみて2004年ごろの豊作時期のものだろうとのこと。たいがいの幼木はひょろっとしているが、1つだけ小さいながらも見事な枝っぷりのがあり、かわいい。そろそろ盆栽が良く見える歳だろうか。結局数えた幼木は約100本(見落としもあり)だった。私は最後を歩きメモ係で、2人が次々と幼木を見つけては知らせるので、大忙しだった。前岳から大沢までは、山オヤジ尾根を駆け降りる。2006年ごろは後藤さんは天狗のごとく速く、先を行く姿はほぼ見えなかった。今回は後藤さんがゆっくり下りるので離されることはなかった。

山神社駐車場に戻った。風呂はなし。御殿場の仲間のSさん宅にお邪魔して反省会(という名の宴会)。4時間も滞在し、3人で赤ワインを3本もあけた。2本でやめようといったのに、Sさんがどうしてもと3本目を開けてしまった。Sさんお手製のごちそうの数々。ワインに合うとおもわれるあれやこれや。自家製漬物、エビマヨに始まり、お手製コロッケ。

どちらにもテーブルの上にある牛乳パックから生えているレタスが添えられていた。蒸し牡蠣、冷凍巨峰。話も大いに盛り上がった。お土産にヤーコン、自家製ご飯の御供「ニラキムチ」一瓶、赤トウガラシを10本ほどリボンでつなげた飾り(玄関の内側に飾って魔除けになる)までいただいた。大大満足で帰路に就いた。

幼木調査(位牌岳から前岳の間の稜線=直線距離約1.1km)

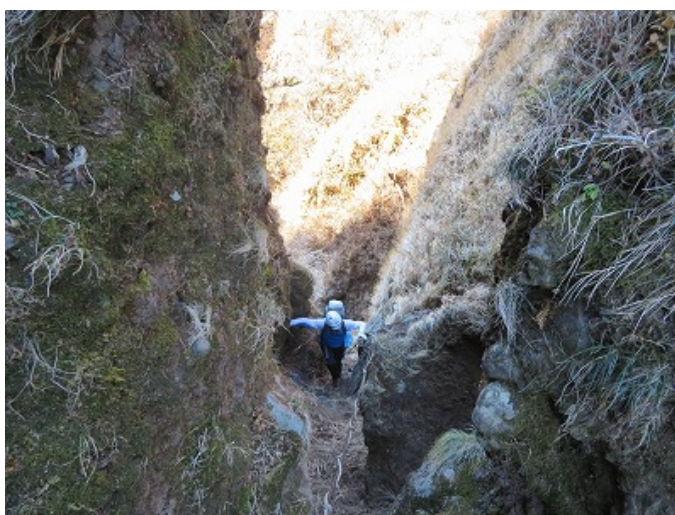
高さ(m)	幼木数(本)			計
	区別開始前	南北区別後		
		南(尾根右側)	北(尾根左側)	
~0.5	11	32	25	68
~1.0	0	3	6	9
~1.5	0	1	7	8
~2.0	1	0	2	3
~2.5	0	1	1	2
~3.0	0	1	2	3



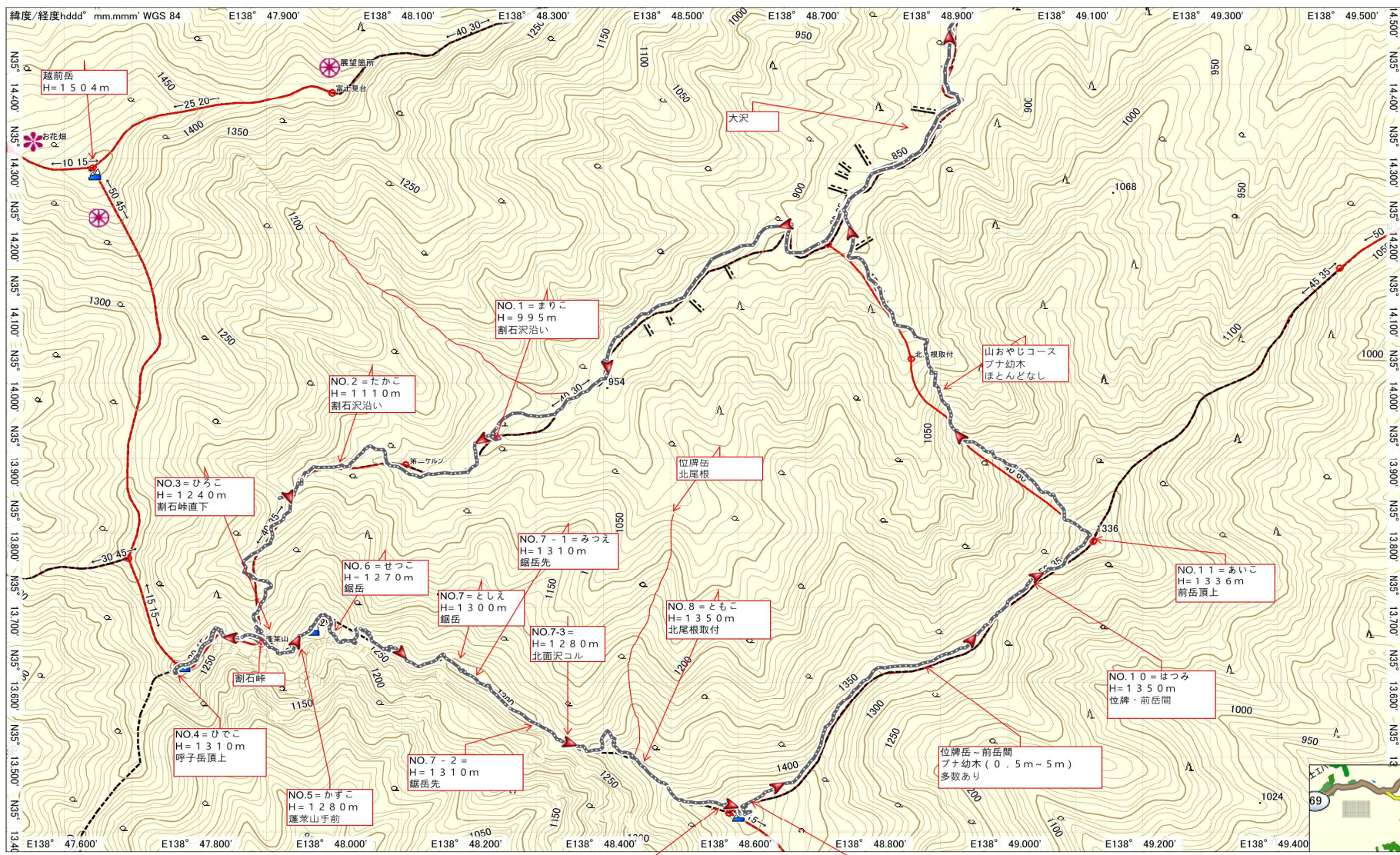
~3.5	0	0	0	0
~4.0	0	0	4	4
~4.5	0	0	0	0
~5.0	0	1	2	3
計	12	39	49	100



ブナ幼木=約15cm

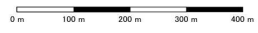






Japan Topo 10M Plus V3  
 CoronaMedia Co., Ltd. 2014  
 Data: Geoposition 1999-2014

2019/12/09 11:15:17



GARMIN